

2021年9月12日(日)
日本外国語教育推進機構(JACTFL)
オンラインシンポジウム

第2部 ②「大学の現況と展望」

必修派遣留学の課題と展望

－ 韓国留学を中心に－

近畿大学 国際学部
酒勾 康裕

(sakawa@intl.kindai.ac.jp)

1. 近畿大国際学部必修留学

－開学部：2016年4月

国際学科 グローバル専攻 450名、東アジア専攻 50名（一学年定員）

中国語コース
韓国語コース

4年間の中の留学時期

学年 学期	1学年 前期	1学年 後期	2学年 前期	2学年後期～ 4学年後期
留学関連	留学準備	9月～翌年8月 留学期間(必須)		3学年前期以降、1～2学期の 交換留学も可

韓国留学先大学：慶熙大学、国民大学、釜山外国語大学
2016年度～ 2019年度～

1. 近畿大国際学部必修留学

- 入学年度別 留学実施状況(コロナ禍以降)

入学年度	現在の学年	留学出発	留学帰国
2019年	3	2019年9月	2020年8月
2020年	2	2021年1月	2021年8月
2021年	1	2021年8～9月	---

1. 近畿大国際学部必修留学

- 入学年度別 留学実施状況(コロナ禍以降)

入学年度	現在の学年	留学出発	留学帰国
2019年	3	2019年9月	2020年8月

2020年3月31日 全世界に対する感染症危険情報の発出

4 これらの状況を総合的に勘案し、以下の2つの措置をとります(詳細以下「危険度」)。
(1) 1万人あたりの感染者数、海外からの移入例等を考慮し、49か国・地域に対し、感染症危険情報レベルをレベル3(渡航は止めてください。(渡航中止勧告))に引き上げ。

外務省海外安全ホームページ

<https://www.anzen.mofa.go.jp/covid19/info0330.html>

留学中の学生・保護者より
留学継続の強い希望



同意書提出の上、留学継続

1. 近畿大国際学部必修留学

- 入学年度別 留学実施状況(コロナ禍以降)

入学年度	現在の学年	留学出発	留学帰国
2020年	2	2021年1月	2021年8月

渡航可否の判断基準作成

- ・感染症危険情報レベル2以下
- ・学生ビザ発給可
- ・留学先大学提供の寮利用可
- ・隔離期間中の滞在先確保可
- ・航空便の確保可



全てクリアで渡航可

1. 近畿大国際学部必修留学

- 入学年度別 留学実施状況(コロナ禍以降)

入学年度	現在の学年	留学出発	留学帰国
2020年	2	2021年1月	2021年8月

2020年10月30日 感染症危険情報の変更に伴う水際措置等手続の変更について

・感染症危険情報の引き下げ(レベル3→レベル2)(9か国・地域)
(アジア)韓国、シンガポール、タイ、台湾、中国(香港、マカオ含む)、ブルネイ、ベトナム
(大洋州)オーストラリア、ニュージーランド

外務省海外安全ホームページ

https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcwideareaspecificinfo_2020C078.html

2020年11月
留学説明会開催

2020年12月
出発前オリエンテーション
実施

1. 近畿大国際学部必修留学

- 入学年度別 留学実施状況(コロナ禍以降)

入学年度	現在の学年	留学出発	留学帰国
2021年	1	2021年8～9月	---

2021年8月 釜山外国語大学
9月 国民大学、慶熙大学

隔離期間を終えてから入寮、従来より2週間早く出発

2. コロナ禍留学における課題

- 留学手続き内容増加による負担増(学生、スタッフ)
 - ビザ等各種申請書類の作成、飛行機搭乗前PCR検査(費用面も)、
入国後2週間の隔離生活…
- 急な変化への対応による負担増
- 大学でのオンライン授業継続による学生とのコミュニケーション不足
 - ・留学準備に関する授業、スタッフからのメール等での連絡
 - 一方通行になりがち(ちょっとした確認の機会減)
 - ・韓国語能力向上の限界(実力確認の検証困難、留学前準備不足)

3. コロナ禍留学継続から見えてきた展望

- 柔軟性、対応能力の向上
- 「貴重な」経験を通じた様々な学び
 - ・現地で過ごせたことによる達成感、自信：交換留学
 - ・オンラインへの適応：オンライン交流会、プロジェクトの推進

4. おわりに

- 学生メッセージ(レポート内容からの引用)

・従来の留学でも見られた内容(現地生活を通じた気づき)

「私が韓国で生活する中で大きく変化したことといえば、現金の使用頻度の減少を挙げられるだろう。」

「改めて、日本と韓国のアイドルのファンの熱量の違いにとっても驚きました。」

4. おわりに

- ・コロナ禍留学中に見られた特徴ある内容

「コロナに対する認識や対応が全く違うと痛感した。徹底した感染症対策がなされた国にいるからこそ、感染症に対する意識や考え方を身につけることができた。」

「また、韓国も日本と同じでやはり今はコロナの影響で就職が困難になっているそうです。改めて日本だけではなく、他の国のコロナの状況に目を向けることも必要だなと思いました。」

4. おわりに

- 留学継続の事例
- クリアすべき課題多、しかし乗り越えた時の成果大(?)
- 1年次後期からの留学、ここで学生の成長を止めることは損失大